

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会  
2018 年度事業計画

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2018 年度事業方針

2018 年度の事業計画として、まず 8 月 29 日から 31 日まで厚木市文化会館において第 33 回リハ工学カンファレンスを開催し、会期中に社員総会を開く予定です。また例年通り協会誌を 4 回発行します。福祉機器コンテスト 2018 は今年 30 回目の節目にあたりますのでリハ工学カンファレンスで記念企画を開催します。また、10 月 10 日から 12 日まで東京ビッグサイトで開催される国際福祉機器展 (H. C. R. 2018) に当協会のブースを出展し、来場者に協会の活動紹介と福祉機器コンテスト 2018 の受賞作品展示、さらにこの会期中に福祉機器コンテストの表彰式を実施する予定です。

分科会活動として、10SIG のうち 4SIG は法人内の組織として、他の 6SIG とは協会と協力団体として今後も協会の活動を支援していただく予定です。支部に関しては、これまで設立した中部、関西、九州、関東・甲信越に加え、東日本、中国・四国の支部を設立する準備を進めているところです。災害対策委員会では、JRAT に加盟団体として、関連団体と協力しながら熊本地震による被災地及び今後起こりうる災害の被災地に対して支援活動を実施する予定です。

他団体との合同シンポジウムとしてはこれまで開催実績のない中・四国地方で開催する方向で準備を進めます。

国際連携推進委員会ではアジアのリハ工学関連組織の連携団体である CREATE Asia (アジアリハ工学連携会議) と支援技術専門家組織連合 (Alliance of Assistive Technology Professional Organizations) についてはこれまで通り、RESNA、AAATE、ARATA、RESKO、TREATS と調整しながら、中央委員会 (Steering Committee) のメンバーとして今後の国際連携活動を推進いたします。

予算に関しては例年厳しい財政事情になっていますが、これまで当協会が継続してきた事業を確実に実施し、さらに支部活動や国際連携を進めていくために予算を計上しつつ、できる限り支出を削減するように努め、さらに新会員と協賛団体の加入を進めるよう努力した上で会費の値上げを提案させていただきたいと考えています。

会長 沖川悦三

## 1. 事業

### 1-1. リハ工学カンファレンス関連 (カンファレンス担当理事)

#### 1) 第 33 回リハ工学カンファレンス準備

第 33 回リハ工学カンファレンス in あつぎの開催準備を行う。

- ・会期：2018 (平成 30) 年 8 月 29 日 (水) ～31 日 (金)
- ・会場：厚木市文化会館 (神奈川県厚木市)
- ・大会テーマ：神奈川の中で、支援技術をかたる～そしてリハビリテーション工学の未来へ～
- ・大会長：沖川悦三氏 (神奈川リハビリテーション病院 研究部 主任研究員)
- ・実行委員長：村田知之氏 (神奈川リハビリテーション病院)

#### 2) 第 34 回リハ工学カンファレンス準備

第 34 回リハ工学カンファレンス (札幌) の開催準備を行う。

- ・会期：2019 (平成 31) 年 8 月 21 日 (水) ～23 日 (金)
- ・会場：北海道科学大学 (札幌市)
- ・大会長：桂律也氏 (三草会クラーク病院 リハビリテーションセンター長)
- ・実行委員長：早川康之氏 (北海道科学大学 義肢装具学科 教授)

### 3) 第35回リハ工学カンファレンス準備

第35回リハ工学カンファレンスの開催準備を行う。

### 4) リハ工学カンファレンス用サーバーの準備

リハ工学カンファレンス時にすべてのプログラムを安全に利用するため、協会データとカンファレンスデータを分けて管理する。

## 1-2. 福祉機器コンテスト関連 (コンテスト担当理事)

### 1) 福祉機器コンテスト2018

- ・第一次選考会 2018年7月7日(土)

応募作品の書類・ビデオ審査 於：中山福祉機器支援センター

- ・第二次選考会 2018年8月30日(木)

機器開発部門：プレゼンテーション審査、学生部門：書類・ビデオ審査

於：第33回リハ工学カンファレンス in あつぎ開催会場内

- ・発表・表彰：第45回国際福祉機器展HCR2018会場内 2018年10月10日(水)～12日(金)

- ・展示・広報 (予定)：

第33回リハ工学カンファレンス in あつぎ (神奈川県) 2018年8月29日(水)～31日(金) (受賞作品の実物展示)

H.C.R.2018 (東京) 2018年10月10日(水)～12日(金) (表彰式/受賞作品の実物展示)

P.P.C.2018 (北九州市) 2018年11月15日(木)～17日(土) (受賞作品のチラシ展示)

### 2) 福祉機器コンテスト2019

特別協賛 (予定)：フランスベッド株式会社

協賛 (予定)：株式会社有菌製作所、川村義肢株式会社、株式会社ケアフォース、株式会社ケープ、日陶科学株式会社、株式会社ミクニライフ&オート、株式会社モリトー

後援 (予定)：厚生労働省、経済産業省、公益財団法人テクノエイド協会、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会、一般社団法人日本作業療法士協会

- ・福祉機器コンテスト2019選考委員会の設置 (2019年4月1日～)

- ・募集対象：機器開発部門、学生部門

- ・広報開始・応募要綱配布：2019年4月中旬

- ・募集期間：機器開発部門 2019年5月～6月、学生部門 2019年5月～7月

- ・展示・広報 (予定)：

バリアフリー2019 (大阪) 展示会 (広報) 2019年4月18日(木)～20日(土)

ウェルフェア2019 (名古屋) 展示会 (広報) 2019年5月30日(木)～6月1日(土)

### 3) 福祉機器コンテスト30周年記念シンポジウム

第33回リハ工学カンファレンス in あつぎ (神奈川県) 2018年8月29日(水)～31日(金)

- ・期間中に過去の受賞作品の展示及び受賞者によるシンポジウム

### 4) コンテスト発展のための取り組み

コンテストの企画内容及び運営方法を見直しする。

## 1-3. 協会誌関連 (協会誌担当理事)

### 1) 協会誌編集

- ・4回、協会誌の発行に合わせて会場の確保を行い、編集委員会を開催する。うち、年2回を目標

として、Web 編集委員会を開催し、経費削減をはかる。そのほか随時、インターネット上にて編集作業の進捗状況について情報交換を行う。

## 2) 協会誌発行

- ・以下の発行を予定している。

Vol. 33 No. 3 2018/8/1 特集 「遊び 最近の動向 (仮)」

Vol. 33 No. 4 2018/11/1 特集 「人工内耳 (仮)」

Vol. 34 No. 1 2019/2/1 特集 「リハ工学教育ないしスポーツ関連を検討」

Vol. 34 No. 2 2019/5/1 特集 「未定」

## 3) 投稿論文 (査読依頼)

- ・査読担当委員を中心に、投稿論文の査読者の確保、依頼等を行う。査読体制の改善、さらには査読規定の改正が必要と思われる場合には、担当者間で協議し、対処する。

## 4) 協会誌の段階的電子化

- ・協会誌電子化登載作業のうち、JST への Web 上での登録作業を協会誌編集委員会へ委託する。委託費として謝礼として、本年度は以下の経費を計上したい。

# 1-4. 分科会・専門委員会関連 (分科会・専門委員会担当理事)

## 1) SIG 活動支援

- ・現在設立されている 10SIG は、それぞれ主体的に活動内容を企画・実施しつつ、時に複数 SIG 間で協同の事業を行っている。主な関心領域やメンバーの専門領域、そして企画の進め方も異なる多様性に富んだ 10 グループの活動組織は、当法人が企画する事業を実現化する際に大変頼りになるパートナーである。
- ・2016 年度は、さまざまな運営規模及び運営方法である法人外 SIG の活動と協働するために、基本協力関係の覚書を締結し、協力関係を明確にした。
- ・2018 年度は、2017 年度同様、当法人が企画・参画・運営する事業 (講習会やコンテスト、協会誌の査読など) 実施に際して、法人内 SIG・協力 SIG の協力を仰ぎながら法人としての活動を活性化していきたい。

## 2) 支部活動支援

- ・2016 年度より支部設置方針を見直して、設置申請方式から地域区割り方式に変更し、会員はいずれかの地域の支部に所属し、各地域でのリハ工学に関わる人的ネットワークを構築するために、規定整備を行った。これにより 2017 年度時点において、すべての地域で支部が立ち上がっている。しかし、地域ごとに活動度合いに差がある現状を踏まえて、2018 年度は支部活動のさらなる底上げを行うため、各支部の実情に応じた支援を行っていく。また継続的な活動が行えるよう、活動経費として支部活動金の配分を行いたい。

## 3) 災害対策委員会の運営

- ・2016 年度に、本協会において災害対応体制が本格的に整備されるまでの期間、期限付き委員会である「災害対策委員会」を設置し、主に熊本地震の支援を実施した。
- ・2018 年度も現地の実情に応じて継続して活動を行う。

## 4) 大規模災害時の協会の対応

- ・2017 年度より加盟している大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 (JRAT) へ災害対策委員会から委員派遣等を行い、他団体との協力体制の構築と発災時の現地調査等を行う。また、そのために当協会内の体制整備等の検討を行う。

2018年度活動計画 期間：2018年7月～2019年6月 ※会員数（協会員数）は2018年6月1日現在

SIG 姿勢保持 代表者：繁成剛(東洋大学) 事務局長：児玉真一(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・講習会開催：実施予定 日程：2018年8月4日(土)～5日(日) 会場：東洋大学 朝霞キャンパス ・復興支援講習会参加：2016年5月7日(福島テルサ) ・役員会の開催：開催予定 日程：2018年12月末 会場：横浜市総合リハビリテーションセンター(予定) ・書籍(小児から高齢者までの姿勢保持・第2版)や資料集PDF版の販売	<a href="http://www.resja.or.jp/posi-sig/">http://www.resja.or.jp/posi-sig/</a>	会員数：171名(41名)
車いす SIG 代表者：松尾清美(佐賀大学) 事務局長：深野栄子 ・講習会開催：2018年9月1日・2日 アミューあつぎ(厚木市) ・講習会開催：2019年2月16日・17日 横浜市スポーツ医科学センター(横浜市) ・WEBサイト運営、テキスト発行(年2回)、分科会(BOG)活動、大規模災害復興支援、協会事業への協力 他	<a href="http://www.resja.or.jp/wc-sig/">http://www.resja.or.jp/wc-sig/</a>	会員数：116名(61名)
自助具 SIG 代表者：岡田英志(ヒューマン) 事務局長：岡田英志(ヒューマン) ・リハ工カンファレンスやその他講習会への協力 ・貸し出し用自助具箱の充実・貸出促進		会員数：9名(9名)
乗り物 SIG 代表者：岩崎満男((株)ファースト・ウェルフェア) 事務局長：増子 千景(WILD GATE) ・分科会(BOG)活動、協会事業への協力 他 ・SIGのFB/HP更新など	<a href="http://ameblo.jp/sunrise.jp007/">http://ameblo.jp/sunrise.jp007/</a>	会員数：5名(5名)
SIG 褥そう防止装置 代表者：新妻淳子(国立リハビリセンター研究所) 事務局長：河合俊宏(埼玉県総合リハビリテーションセンター) ・HPの更新 ・日本褥瘡学会との連携	<a href="http://www.resja.or.jp/sig-pmps/">http://www.resja.or.jp/sig-pmps/</a>	会員数：20名(20名)
コミュニケーション SIG 代表者：渡辺崇史(日本福祉大学) 事務局長：上野忠浩(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・コミュニケーション SIG 講習会開催(時期未定) ・SIG ホームページの更新など	<a href="http://www.resja.or.jp/com-sig/">http://www.resja.or.jp/com-sig/</a>	会員数：67名(20名)
SIG 住まいづくり 代表者：橋本美芽(首都大学東京) 事務局長：鈴木基恵(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・復興支援講習会への協力 ・ホームページリニューアル検討	<a href="http://www.resja.or.jp/sumai-sig/">http://www.resja.or.jp/sumai-sig/</a>	会員数：107名(60名)
特別支援教育 SIG 代表者：松田靖史(川村義肢株式会社) 事務局長：高原光恵(鳴門教育大学)		会員数：5名(5名)
移乗機器 SIG 代表者：古田恒輔(神戸学院大学) 事務局長：青木久美子(宇部記念病院訪問リハビリテーション) ・移乗機器 SIG 講習会の開催(2018年11月～2019年2月の間で検討中) ・ニュース発行(2回) ・役員会の開催	<a href="http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index.html">http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index.html</a>	会員数：130名(23名)
義肢装具 SIG 代表者：水澤二郎(一般財団法人啓成会 啓成会高等職業技術専門学校) 事務局長：砂野義信 ・講習会開催：2018年9月1日・2日 義肢装具 SIG 第14回講習会 神奈川リハビリテーション病院(神奈川県厚木市) ・WEBサイト運営	<a href="http://www.resja.or.jp/po-sig/">http://www.resja.or.jp/po-sig/</a>	会員数：131名(38名)

2018年度活動計画 期間：2018年7月～2019年6月

東日本支部 世話人：桂律也(クラーク病院) 事務局長： ・世話人・役員体制の再整備と活動計画の策定
関東・甲信越支部 世話人：沖川悦三 事務局長：村田知之 ・第33回リハ工学カンファレンスの運営(2018年8月) ・第45回 国際福祉機器展 H.C.R.2017 リハ工ブースにて説明/相談、セミナーなど(2018年10月)
中部支部 代表者：渡辺崇史(日本福祉大学) 事務局長： ・新区割りでの運営体制の検討
関西支部 代表者：相良二郎(神戸芸術工科大学) 事務局長：糟谷佐紀 ・バリアフリー2019 リハ工ブース担当：2019年4月18-20日 インテックス大阪(大阪市)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本リハ工学協会関西支部シンポジウム：内容・日時・場所未定</li> <li>・役員会：日時・場所未定</li> </ul>
中国・四国支部 世話人：下元佳子（一社）チャームハートフルネットワーク      事務局長： <ul style="list-style-type: none"> <li>・第17回高知ふくし機器展 バリアフリーフェスティバル2018 リハエブースとして参加</li> </ul>
九州支部 <a href="http://www.resja.or.jp/koy">http://www.resja.or.jp/koy</a> 支部長：松尾清美（佐賀大学）      事務局長：小林博光（総合せき損センター） <ul style="list-style-type: none"> <li>・第20回西日本国際福祉機器展リハエブース支援2018年11月（搬入出/設営・説明/相談対応・セミナー/ガイドツアー等）</li> <li>・第2回災害対策リハ工学セミナー（詳細未定）</li> </ul>

### 1-5. 企画推進事業（企画担当理事／事業統括理事）

協会の広報活動及び会員獲得に向けた PR 活動、公益活動のために以下の展示会出展及び出展社セミナー等の開催を行う。

#### 1) 学会展示会、広報活動強化

以下の展示会へブース出展し、広報活動を実施する。その際には各地域の支部で運営するように体制整備を行っていく。

- ・第44回国際福祉機器展(H.C.R.2018)での広報(2018年10月10日(水)～10月12日(金) 於：東京ビッグサイト(東京))
- ・バリアフリー2019(2019年4月18日(木)～20日(土) 於：インテックス大阪(大阪))
- ・その他各地域で行われている福祉機器展への出展(第20回西日本国際福祉機器展(PPC2018)、高知福祉機器展、新潟福祉機器展など実施可能な展示会にて広報を行う)。
- ・各地域支部やSIGとの協力を積極的に進めると同時に、可能な限りセミナー実施とセットで行う。

#### 2) セミナー開催

各福祉機器展において出展機会を有効活用し、出展効果の向上とリハ工学に関する普及を促進する目的で、積極的に出展社セミナー・ワークショップを開催していく。この企画・運営についても支部を中心に実施できるよう体制整備を行う。

また収益増を視野に、有料セミナー等の試行を検討する。

- ・第44回国際福祉機器展(HCR2018)(東京)での出展社ワークショップ等を企画・開催。
- ・バリアフリー2019(大阪)でのワークショップを企画・開催。関西支部と調整・協力の上、実施する方向で検討する。
- ・その他の地域で開催される福祉機器展においても、支部・SIGなどと協力してセミナーの開催を検討する。

#### 3) 災害対策セミナーの開催

一昨年度まで実施をしてきた復興支援講習会の新たな形として、2017年度は災害対策セミナーを2018年4月に熊本で実施した。昨年度に続き、本年度も開催を検討する。運営は災害対策委員会を中心に各SIGの協力を仰ぎながら企画し、リハ工学の啓発、技術伝承及び、災害時の福祉用具や住環境改善の対応等の内容から検討する。

対象者：専門職向けやリハ工学に興味のある方等

開催候補地：未定

#### 4) 合同シンポジウムの開催

前年度は、リハ工学カンファレンス開催予定の神奈川県厚木市にて開催。本年度は、これまで開催実績のない中四国地域を中心に検討する。

#### 5) 情報保障の推進

- ・障害者差別解消法の施行により、障害のある人に対する情報保障を実施する必要性がある。当協

会においても、主催セミナー・シンポジウムや支部事業、カンファレンス等において情報保障の実施が求められており、そうした社会情勢に対応するための体制づくりを行う。

#### 1-6. 国際関連事業（国際担当理事）

##### 1) 国際関連団体との相互協定に基づく交流

- ・リハ工学カンファレンスへの各国代表参加者の参加費負担。
- ・i-CREAtE、RESKO、TREATS、RESNA 等への RESJA 代表者の参加費負担。
- ・支援技術専門家組織連合（AATPO：仮称）への加盟分担金負担。

##### 2) 国際連携推進委員会の開催

- ・「理事会のもとに、協会の国際連携等についてのアドバイスを行う国際連携推進委員会を設置し、年に2回程度の開催を予定し、理事会の決定を補佐する。」としていたが、AAATPO の大枠も決まり、一方で、今後の見通しが不透明なことから、年1回程度としたい。

### 2. 総務

#### 2-1. 規則・選挙関連（規則・選挙担当理事）

##### 1) 規程の整備

- ・各種規程を整備し、改定を必要に応じて行う。

##### 2) 代議員選挙、役員選挙

- ・2019年度（平成31年度）新代議員・役員候補者選挙を実施する。

#### 2-2. 財務（財務担当理事）

- ・法人会計の管理を行う。

#### 2-3. 総会・理事会等会議の開催（総会・理事会担当理事）

##### 1) 理事会開催

- ・年4~5回、定例の理事会を開催する。開催予定場所は新横浜。開催時期は、2018年7月、10月、12月、2019年3月、6月を目安とする。

##### 2) 2018年度総会開催

- ・カンファレンス開催期間中に総会を開催する。  
日時：2018（平成30）年8月30日（木） 12：20 ～ 13：10  
場所：厚木市文化会館

#### 2-4. 広報・渉外（広報・渉外担当理事）

##### 1) 協会ホームページ作成（リニューアル）

- ・協会ホームページリニューアルについて、今後、継続性・安全性・品質維持を鑑み、理事会メンバー以外での運用を考え、外部でのデータ共有・バックアップ方法を導入します。

##### 2) 協会リーフレット印刷

- ・協会案内用リーフレットを印刷する。

#### 2-5. 事務局（事務局担当理事）

##### 1) 事務局運営

- ・法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進める。

2) 展示会出展における広報活動

3) ホームページの運営

- ・会員サービスの一環とし、今まで以上のホームページ掲載内容の充実を図り、迅速な対応をめざす。

### 3. 後援・協賛事業

- ・後援・協賛予定事業（主催団体と内容）は下記のとおりである。

No.		団体名	開催日程	内容
1	後援	福祉用具プランナー研究ネットワーク	2018/7/15	プラネット第4回研究大会
2	後援	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	2018/7/20～21	ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2018
3	後援	一般社団法人日本福祉のまちづくり学会	2018/8/8～11	日本福祉のまちづくり学会第21回全国大会
4	後援	特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター	2018/9～2019/3	第6回ウェルフェアデザインコンテスト
5	協賛	特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会	2018/9/5～7	ヒューマンインタフェースシンポジウム2018
6	協賛	一般社団法人日本生活支援工学会	2018/9/6～8	学術講演会 L I F E 2 0 1 8
7	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2018/9/7～9	第52回日本作業療法学会
8	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2018/9/10～12	ライフエンジニアリング部門シンポジウム2018 (LE2018)
9	後援	一般社団法人ナンフェス	2018/9/17	ウォーク&ランフェスタ2018
10	後援	日本身体障害者補助犬学会	2018/10/6～7	日本身体障害者補助犬学会第11回学術大会
11	後援	一般社団法人日本義肢装具学会	2018/11/10～11	第34回日本義肢装具学会学術大会
12	協賛	バイオメカニズム学会	2018/11/10～11	第39回バイオメカニズム学術講演会
13	後援	特定非営利活動法人 バイオフィリアリハビリテーション学会	2018/11/10～11	第22回バイオフィリアリハビリテーション学会大会
14	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2018/12/13～15	第19回SICEシステムインテグレーション部門講演会